

音楽科授業案

日時 平成23年10月20日(木) 13:30~14:20

生徒 1年B組 男子17名 女子18名 計35名

授業場 音楽室

授業者 齊藤貴文

1 題材名「郷土の民謡の魅力」『こきりこ節・ソーラン節』（表現領域：歌唱分野）

郷土の民謡や芸能の特徴を理解し、アジアの民謡や芸能とのつながりを感じ取ろう

〔共通事項〕 **ア**音色：声の音色，発声の仕方リズム：拍節の表れ方，旋律：音階，旋律装飾 **イ**間，拍子，拍

2 題材の目標

我が国の伝統的な歌唱である民謡を通じた歌唱活動に意欲的に取り組み、音楽表現の豊かさを感じ取り、民謡の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けることができる。

3 題材について

(1) 題材観

国際化・グローバル化が進む今日、新しい学習指導要領において「音楽文化についての理解を深めること」が新たに規定され、音楽教育においては、我が国や郷土の伝統音楽に対する理解を深め、我が国の音楽文化に愛着をもつとともに諸外国の音楽文化を尊重する態度の育成が求められている。さらに、歌唱教材の選択の観点として、我が国の伝統的な歌唱の充実が示され、従前の「聴く」活動を発展させ、「体験」することでその特徴を感じ取っていくことが重視された。

本題材では「こきりこ節」、「ソーラン節」を歌唱表現することで、伝統的な歌唱のひとつである「民謡」の特徴を感じ取り、味わうことを通して、我が国の音楽文化を理解し、愛着を深めようとするものである。

「こきりこ節」は富山県五箇山地方に伝承されている民俗芸能で、神社の祭礼に奉納し歌い踊ってきた神楽歌である。もともと農具などを打ち鳴らして歌い踊った民謡なので、リズムが取りやすく、シンプルな旋律は、生徒たちに取り組みやすさを感じさせると考える。また、歌唱表現においてもコブシの特徴や〔間〕の取り方などを認識しやすく、民謡の特徴を感じ取りやすい題材となっている。

一方「ソーラン節」は北海道の民謡であり、ニシン漁の歌として大変有名な作品である。「よさこいソーラン」で、この曲の認知度は広がっているが、民謡本来の「ソーラン節」はまた違った特徴があり、生徒たちにとっては新鮮に映り深く味わえることが期待できる。

上記の楽曲はいずれも拍節的なリズムをもち取り組みやすさが魅力のひとつである。また、「ソーラン節」は郷土の民謡ということでも取り組む価値があると考えている。今回は民謡の特徴である、コブシや産字、抑揚などを歌唱表現する中で感じ取らせ、日本の伝統的な歌唱のひとつである「民謡」のよさや楽しさを実感させていきたい。

(2) 生徒観 省略

(3) 指導観

音楽における表現は、対象から受ける心象などを自己の内面に抱き、それを声や楽器、あるいは楽譜などの記号によって表出することである。三善（1995）は「創造の過程には、つねに創造者自身の出会いと発見がある。いや、出会いと発見こそが、彼を創造に向かわせる」^{注1)}と言っているが、それは音楽表現においても同様のことが言える。私達の内面では、心象などが想起する際に伴う「創造の過程」において、対象から主体的に音や音楽の特徴を知覚、あるいは感受することから生まれる新たな「出会い」と「発見」が自己の創造を高めていく。そして自己の創造の高まりは自己の表現力の高まりへとつながっていくと考えられる。

心象あるいはそれにかかわる表現は個人的なものであるが、そこに閉じてしまえば、表現の質や幅が広がっていかない。そこで本実践では共通の視点をもって他者との交流を行うことで表現の質や幅、つまり内面の広がりや感得へとつながっていくと考え実践してきた。

教科主題にある、「主体的に音楽を創る」生徒を育むため、自己の内面に広がる対象からの直観・印象・心象を音楽の諸要素を用いて言語化する活動を取り入れていく。昨年度までの研究において鑑賞領域では音楽の諸要素を用いての言語活動が内面の広がりを促進し学習意欲を高めることにつながった経緯がある。その成果を受け、表現領域において、自己の内面に広がる直観・印象・心象を言語化し、交流することで生徒達に音楽科としてのよさや楽しさを実感させていきたい。

本実践では日本の伝統的な歌唱に取り組んでいるが、「教育の役割のひとつに文化の継承がある」^{注2)}と山内（2001）が言うように、これからの時代の日本の音楽文化を創造していく生徒たちには、音楽教育を通して我が国の伝統的な音楽の特徴を、「美しいもの」、「価値あるもの」として捉え、自国あるいは世界に伝え続けて欲しいと願い、そのきっかけになるような授業を目指したい。以下に研究の視点を示す。

研究の視点

1 短期的視点・・・共通の視点で音や音楽の思考内容を伝え合う活動 **A**

生徒たちにとって、この題材が「民謡」であることはわかっても、「民謡」の声の出し方や特徴と言われると「何が」「どう」なのか言葉にするのが難しいのではないだろうか。そこで、音楽の諸要素として音色・リズム・旋律のなかでも特に本時では、共通の視点として旋律としてコブシと産字、旋律の抑揚に焦点化し、

注1) 佐伯 胖/藤田英典/佐藤 学編、『表現者として育つ』、東京大学出版会、1995、p. 21

注2) 山内雅子、『日本音楽の授業-伝統音楽のこころを大切にできく・うたう・おどる・かなでる・つくる』、音楽之友社、2001、p. 10

感じ取ったことを他者との交流場面において伝え合う活動を設定した。これを短期的視点の手立てとし、自らの感じ取ったことを伝え合うことで、自己の内面の広がりを感じ得ることへとつなげていきたい。

2 長期的視点・・・各題材の関連や系統性を重視したカリキュラムの構成・整備 **B**

表現領域において、我が国の伝統的な音楽及び歌唱の特徴を捉えさせることに重点がおかれたことを受け、1年次では比較的親しみやすい「民謡」を取り上げ、コブシや産字などを体験させていく。それを受け、2年次・3年次では表現と鑑賞の一体化を踏まえ2年次では歌舞伎より「長唄」を体験し、3年次では文楽より「義太夫節」を体験することで段階的・系統的に伝統的な音楽あるいは伝統的な歌唱の特徴を感じ取ることができる年間指導計画の作成・実施することで長期的視点として設定している。

4 評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
㊦ 民謡の発声や言葉の特徴、に関心をもち、それらを生かして音楽表現を工夫して歌ったり、鑑賞したりする学習に主体的に取り組もうとしている。	㊦ 声の音色、拍節的なリズム、コブシや産字などによる旋律装飾などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じようとしている。 ㊧ 民謡の発声や言葉の特性を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	㊦ 民謡の発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な音楽表現の技能を身に付けて歌うことができる。	㊦ 拍節的なリズム、コブシや産字などによる旋律装飾などそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取って解釈したり価値を考えたりし、鑑賞することができる。

5 題材指導計画（日本の伝統的な歌唱に関する3年間の指導計画における位置づけ）

学年	題材名・題材	学習事項	主な学習活動・手立て	評価			
				関	創	技	鑑
1年	郷土の民謡の魅力 [A表現(1)歌唱:イ] 〔共通事項〕 ㊦ 音色：声の音色 発声の仕方 リズム：拍節の表れ方 旋律：音階 旋律装飾 ㊧ 間、拍子、拍	1 日本民謡と芸能 ①我が国の伝統的な歌唱について知る。 ②鑑賞を通してその特徴を知る。 ③こきりこ節を知る。	○いくつかの代表的な民謡を鑑賞させる。 ○民謡の特徴を感じ取る。 ○こきりこ節の音を取る。	㊦	㊦		㊦
		2 こきりこ節の特徴を感じ取る。 ④こぶし、産字などに着目し、その特徴をWSに記入する。 ⑤特徴を感じ取り歌唱する。	○こきりこぶしを元に、民謡の特徴を探る。 ○こぶし、産字などに着目させる。	㊦	㊦ ㊧		
		3 ソーラン節の特徴を感じ取る。 ⑥GTの範唱を聴き、民謡の特徴について考える ⑦グループごとに交流を行いながら練習を行う。	○ソーラン節を元に、民謡の特徴を感じ取らせる。 ○楽譜に記入 ○共通の視点でのG r交流… A ○GTの範唱と共に練習	㊦	㊦ ㊧		
		4 発表	○練習の成果を発表する		㊧	㊦	
2年	日本の伝統的な声の特徴 -歌舞伎-	○声の音色や拍の表れ方、楽器との合わせ方に着目して聴き取ろう。 ○日本の伝統的な声による表現の豊かさを味わおう。	・長唄の模範演奏を聴いて、声の特徴や旋律の動きを感じ取る。 ・「勸進帳」を鑑賞し、よさやすばらしさを味わって聴かせ、自分なりの根拠をもって批評する。				
3年	総合芸術の魅力 -文楽-	○物語の内容を理解して、声の出し方や楽器との合わせ方に着目して聴き取ろう。 ○音楽と人形の表現とのかかわりを理解して鑑賞しよう。	・太夫と三味線に注目しながら聴き、表現の違いや、演奏の違いを聴きとることができる。 ・文楽のよさや素晴らしさについて根拠を持って批評する。				

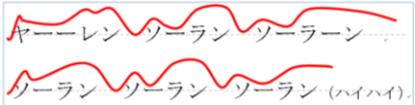
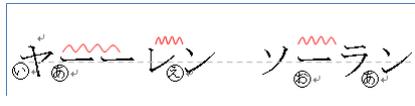
6 本時案

(1) 本時の目標

コブシや産字，旋律の抑揚を感じ取る活動に主体的に取り組み，創意工夫して民謡を歌うことができる。

[共通事項] **ア** 音色：声の音色，発声の仕方 リズム：拍節の表れ方 旋律：音階，旋律装飾

(2) 本時の展開 (本時 3 / 4) (○…発問，△…補助発問，□…指示，説明，GT：ゲストティーチャー)

主な学習活動 (下位目標)	教師の働きかけ・手だて・【評価方法】	備考
<p>1 民謡の特徴を発表することができる。</p> <p>【期待する生徒の活動】 コブシ・産字・地声・ハリがある声・囃しことば</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">ソーラン節の歌い方を探って，民謡の特徴を感じとろう</p>	<p>○ 民謡の特徴は何だろう。 【発表】</p> <p>△ 旋律の装飾のことをなんと言う？ △ 声の質はどんな感じだろう。 △ 歌い方の特徴は何だろう。 △ 合いの手のことをなんと言う？</p>	<p>【学習形態】 ・個人</p> <p>期待する行動傾向 [深い思考] ・民謡の特徴を考えることができる。</p>
<p>2 グループ内で聴取する段を選び GT の歌を聴取しながら WS に記入することができる。</p> <p>A 【期待する生徒の活動】 ・楽譜に旋律の抑揚やコブシを線で記入していく</p> <p>B 【期待する生徒の活動】 ・コブシがある部分には波線を書き，産字の部分には○母音を，WS に記入する</p> <p>A </p> <p>B </p>	<p>□ 今日は皆さんのために GT が来てくれて います。歌うのを聴いてソーラン節の特徴を探りましょう。</p> <p>□ 旋律の抑揚やコブシを線で書く A とコブシを波線，産字を○で書く B を選択し，取り組む段をグループで選びましょう。</p> <p>○A 旋律の抑揚やコブシはどのようにかけられているだろう。曲を聴取して抑揚やコブシを高低のある線で書きましょう。</p> <p>○B 曲のどの部分に，コブシ・産字が強調されているだろう。曲を聴取し，コブシがある部分には波線を書き，産字の部分には○母音を書き込みましょう。</p> <p style="text-align: right;">【観察・WS】</p>	<p>期待する行動傾向 [深い思考] ・GT の紹介 ・ワークシート</p> <p>期待する行動傾向 [深い思考] ・GT の歌を基に，歌の特徴を探り，WS に記入する</p>
<p>3 聴いて，感じたこと，考えたことをグループ内で交流することができる。</p> <p>【期待する生徒の活動】 ・WS に記入したことを GR 内で語り合う。 ・異なる思いや意図を WS に書きこむ</p>	<p>□ 聴いて感じたことや気づいたことを歌唱表現に活かすためにグループで交流し気づきを広げ深めましょう。…A</p> <p>□ 交流の際に自分とは異なる思いや意図，気づかなかったことはメモをしよう。</p> <p style="text-align: right;">【観察】</p>	<p>【学習形態】 ・グループ</p> <p>期待する行動傾向 [情報・思考] ・自分が感じ取ったことを友達と語り合う。</p>
<p>4 声の質や出し方の特徴を発表することができる。</p> <p>【期待する生徒の活動】 ・力強い・太い・ハリがある</p>	<p>○ 本物の演奏を聴いて，発声や声の特徴で気づいたことはありませんか。</p> <p>△ 今まで合唱の声と比べてみよう。 △ 声の質感はどんな質感だろう。 △ 声の太さはどうだろう。</p> <p style="text-align: right;">【発表】</p>	
<p>5 聴取して気づいたことを基に GT とともに歌唱の練習に取り組むことができる。</p> <p>【期待する生徒の活動】 ・WS に記入したことを見ながら，GT と共にソーラン節を歌う。</p>	<p>聴取して気づいたこと・交流して気づいたことをもとに，GT と共に練習を行いましょう。</p> <p>□ GT とともに練習を行い，民謡の特徴を実際に感じてみよう。</p> <p style="text-align: right;">【観察】</p>	<p>期待する行動傾向 [深い思考] ・民謡の歌唱の仕方を GT とともに歌いながら創意工夫して表現を行う</p>
<p>6 本時の感想を WS に記入する。</p>	<p>□ 今日の授業の感想を，WS にまとめよう。</p> <p style="text-align: right;">【観察・WS】</p>	

